

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	35	特色ある学校づくり						
章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち						
大項目	01	生涯学習、スポーツの推進						
施策	01	学習・教育環境の充実						
事業内容								
目的	特色ある教育活動の充実を図り、児童・生徒の「生きる力」の育成と保護者・地域から信頼される学校づくりを推進します。							
対象・手段	対象：幼児・児童・生徒 手段：「総合的な学習の時間」などを通じ、地域や学校の実態に応じた学習活動を実施します。また、教員の資質・能力向上のための校内研修等を通じて、特色ある教育活動の充実を図ります。							
成果(事業が意図する成果)								
児童・生徒の興味関心や実態に応じた学習など、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開することにより、自ら学び考える能力を育成することができます。								
事業成果指標								
指標名	定義	目標水準						
中長期的な視点に沿って特色ある学校づくりに取り組む学校	左記の内容に取り組む学校数	(毎) 年度に						
		(全校) の水準達成						
		() 年度に						
		() 年度に						
		() の水準達成						
		() 年度に						
		() の水準達成						
成果の達成状況								
	単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考		
事業成果指標	目標値 1	校	44.00	44.00	42.00	42.00	17年度統廃合により2校減になっています。	
	実績 1	校	44.00	44.00	42.00	42.00		
	= /	%	100.00	100.00	100.00	100.00		
	目標値 2		0.00	0.00	0.00	0.00		
	実績 2		0.00	0.00	0.00	0.00		
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00		
	目標値 3		0.00	0.00	0.00	0.00		
	実績 3		0.00	0.00	0.00	0.00		
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業の実施内容							
	平成17年度	「特色ある学校づくり教育活動計画」(平成17から19年度の3か年計画)を、小・中学校、幼稚園ごとに策定し、これに基づいて実施しています。						
	平成18年度	「特色ある学校づくり教育活動計画」(平成17から19年度の3か年計画)に基づき、各校・園で教育活動を行っています。						

部名称		教育委員会事務局		課名称		教育指導課	
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	21,662	28,808	37,936	38,002	
	人件費	千円	2,501	2,501	2,501	2,484	
	事務費	千円	0	0	0	0	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	24,163	31,309	40,437	40,486	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	24,163	31,309	40,437	40,486	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	24,163	31,309	40,437	40,486	
	特定財源		0	0	0	0	
	一般財源投入率 /	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
職員	常勤職員	人	0.30	0.30	0.30	0.30	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	
事業に関する検討課題							
<p>中長期的な視点に立った計画を策定し、経営上の目標を的確に設定しつつ、実践を続けています。今後は、学校（園）長の裁量権を拡充していく中で、より自主的・自律的な教育活動の展開が可能となる仕組みづくりが必要となってきます。</p>							
評価基準に基づく評価と理由 「3.2.1」の3段階評価です。	達成度	3	各校（園）が策定した「特色ある学校づくり教育活動計画」に沿って事業運営を行っています。				
	効率性	2	これまでは、義務教育学校運営費標準等に基づき一律に算定された予算措置がなされてきましたが、今後は各学校の実態に即したものに改める必要があります。各学校長のリーダーシップの下、組織的・機能的な運営が確保されることが必要です。				
	実施の成果	3	児童・生徒一人一人の個性を伸ばし多様な学習活動の充実と各学校が自らの責任の下で地域性を生かした主体性のある学校運営が期待できます。				
	行政の関与	3	地域・保護者から信頼される地域（コミュニティ）の中心（核）となる学校づくりをするため、各学校の特色ある学校づくりを支援するのは、区教育委員会の責務です。				
	妥当性	2	校長の児童や地域の実態を十分考慮した中長期的な視点に立って、学校経営上の目標をもとに、適正な学校評価のもと学校への支援体制の構築が必要です。				
	施策寄与度	3	地域や児童・生徒の実態に即した各学校の方針に基づき多様な教育指導が可能となります。				
総合評価	各校（園）ごとに策定した「特色ある学校づくり教育活動計画」に沿った事業運営を行っています。事業内容や予算編成の段階から、校（園）長の裁量を拡大していく取組みであり、順調に事業実施を行いました。						B 過年度評価
							17年度 B 16年度 B 15年度 14年度
改革方針							方向性
	引き続き「特色ある学校づくり教育活動計画」に沿って取り組んでいきます。今後は、各学校・園の教育目標の達成に向けた日常の教育活動の充実に結びつけるとともに、より自主的な学校経営が可能となるよう、次期計画づくりに生かしていきます。						1 現状のまま継続